

川崎重工グループのCSR推進

CSRの枠組みづくりとテーマ

川崎重工グループでは、CSR活動を「『世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する』というグループミッションを、より高いレベルで実現するための努力の積み重ね」であると位置付けました。

私たちは、人間社会・地球環境の未来に貢献することがカワサキブランドの価値を向上させることであると認識して、「CSRの5つのテーマ」を設定し取り組んでいます。

CSRの5つのテーマ

- 1 総合技術力で未来をひらく価値を創り出します
- 2 社会の信頼に応えるため、いつも誠実に行動します
- 3 ずっと働きたい職場をみんなで作ります
- 4 「地球が微笑むものづくり」を追い求めます
- 5 社会と未来につながる貢献の輪を広げます

- 事業
- マネジメント
- 従業員
- 環境
- 社会貢献

テーマ	個別領域	目指す姿	中計期間中の目標・施策*
全般	CSR活動全般		川崎重工グループの社会的責任を明文化し、グループ全体として従業員に周知し、推進体制を整備する。
			ステークホルダーの意見を聞き、企業活動・事業活動に反映する。グローバルコンパクト、国連ミレニアム開発目標、ISO26000などの国際的なCSR関連行動基準を尊重する。
事業	製品開発	グループの総合力を活かして、高度な技術力で高機能・高品質の製品を開発します	事業および製品で持続可能な社会への貢献を目指す。
	製品責任	お客様の視点に立った、「信頼」「安心」の製品・サービスを提供します	お客様に信頼される製品を作り、品質・製品安全のさらなる向上を図っている。
	お客様満足	お客様のニーズを満たし、感動を伴う製品・サービスを提供します	お客様満足をフォローし、そのさらなる向上を目指す。
マネジメント	コーポレート・ガバナンス	経営の透明性と健全性を追求し、事業部門の自立的な運営とともにグループ総合力の発揮を実現します	コーポレート・ガバナンスのさらなる向上を目指す。
	コンプライアンス	風通しが良く自浄作用の働く組織を築き、信頼される企業風土を確立します	企業倫理や行動規範が従業員に周知徹底されている。
	情報セキュリティ	確実な情報セキュリティ対策を行い、情報の安心と安全を維持します	各種情報保護についてさらなる向上を目指す。
	情報開示・IR活動	適時的確に企業情報を発信し、開示内容もさらに一層充実させます	株主・投資家コミュニケーションのさらなる向上を目指す。
	お取引先	お取引先と共生し、公正なパートナーシップを継続するとともに、CSR活動の協働を推進します	お取引先とのCSRマネジメントの協働を推進している。
従業員	安全・衛生	安全と健康を最優先する職場風土を構築し、心身ともに健康に働くことができる、安全で快適な職場環境を築きます	従業員の安全・衛生に配慮し、労働安全衛生マネジメントシステムの適切な運用と継続的な改善を行っている。
	人財開発	一貫した従業員の育成・強化を行い、人的価値を最大限に高めます	従業員の人的価値を最大限に高める取り組みを行っている。
	人権・労働	従業員の多様性を尊重し、さまざまな価値観と能力を受け入れ、活かす職場を目指します 働きがいのある職場づくりに努め、公平・公正な処遇を行います	従業員の人権配慮に関する取り組みを行っている。 機会均等と多様性の前向きな活用を図っている。 従業員の働きやすさに関する取り組みを強化する。
環境	地球環境	低炭素社会・循環型社会・自然共生社会の実現を目指します	年間でのCO ₂ 排出量およびエネルギー使用量を着実に削減している。 廃棄物排出量を削減するとともにリユース・リサイクルを推進している。 環境負荷物質を着実に削減している。
社会貢献	(全般)		グループとしての社会貢献ビジョン、基本方針、重点領域を明確化し活動を推進する。
	地域社会・日本社会	地域社会と共生・連携し、未来の夢のテクノロジーを担う次世代の育成を支援します	
	国際社会	世界の国々の文化を尊重し、技術や人財の育成を通じて豊かさの実現に寄与します	社会貢献自主プログラムを推進している。

* Kawasaki Report 2013での報告では「ありたい姿」と表現していましたが、今年度は「中計期間中の目標・施策」と言い換えています。

CSR取り組み課題と「中計2013」における中期的目標設定

川崎重工グループでは、お客様からのご要望、NGOなどからの調査、ISO26000の中核課題を収集・集約し、この中から当社グループとして取り組むべきCSR課題をテーマごとに抽出しています。中期経営計画2013(2013～2015年度)においては、新たに頂いたお客様のご要望や海外のSRIインデックスの項目を盛り込んで課題の見直しを行い、中計期間中の目標と施策*を策定して取り組みを行っています。

前中期経営計画(「中計2010」)期間中は、単体としての取り組み体制とPDCAサイクルの確立に主眼を置いていましたが、「中計2013」においては、グローバル・グループ(海外拠点を含めたグループ全体)と、サプライチェーンという「範囲の拡大」にも取り組んでいます。また、人権・労働領域については、ダイアログ等(93-94ページをご覧ください)による社内理解の促進を含め、取り組みを強化しています。

2013年度の取り組み状況

5つのテーマとそれぞれの個別領域で長期的なゴールとしての目指す姿に対し、中期的目標と施策を見直しました。その目標に到達するためのアクションプランを各部門で設定し、2014年3月時点でその実施状況をフォローして、到達状況を4段階で自己評価したのが下の表です。

本社部門がそれぞれ担当の課題に取り組むのはもちろん、カンパニー部門も個別重点的に取り組む課題を設定しています。

なお、「中計2013」では、グローバル・グループ共通で2つの課題に取り組んでいます。

- ①人権・労働領域課題：児童労働・強制労働がないことの確認およびこれからも行わないことへの拠点ごとの宣言
- ②お取引先(サプライチェーン)課題：CSR調達ガイドラインの拠点ごとの保有とサプライチェーンへの協働の呼びかけ

中計期間中の目標を目指すための具体的なアクション	中計目標に対する自己評価(2014.3)
<ul style="list-style-type: none"> ●CSRのアップデート、グループへの周知、企業経営との関連性の整理[CSR部] ●経営企画業務とCSR企画業務の融合の検討[経営企画部、CSR部] ●CSRに関する教育の実施[人事本部] ●海外拠点法務支援体制強化[法務部] ●階層別研修での教育と100%子会社への展開[プラント・環境カンパニー] ●カンパニー報での展開、カンパニー規程の整備[モーターサイクル&エンジンカンパニー] ●階層別研修での全員への周知[精密機械カンパニー-精機部門] ●階層別研修での全員への周知[ロボットビジネスセンター] ●ダイアログの継続・拡大、SRIインデックスのCSR活動への取り込み[CSR部] ●労使交渉や経営者と従業員の直接対話の充実[人事本部] 	★★★★☆
<ul style="list-style-type: none"> ●各種国際規範の動向把握・対策[CSR部] ●グローバル・グループでの人権問題への取り組み推進[CSR部、人事本部、調達企画部] 	★★★★☆
<ul style="list-style-type: none"> ●顧客の価値創造[マーケティング本部] ●「Fun to Ride」、「Ease of Riding」、「環境」を追求したモデルの開発[モーターサイクル&エンジンカンパニー] ●品質管理活動での目標設定の定量化の徹底、継続的改善実行および製品安全リスクの低減要領をカンパニー規程への反映・運用[船舶海洋カンパニー] ●製品の品質および安全性向上についての取り組み内容の見える化[ガスタービンビジネスセンター] ●顧客意識調査の実施[マーケティング本部] ●顧客との技術交流会の拡大・顧客満足度調査に基づく施策の展開[精密機械カンパニー-精機部門] 	★★★★☆
<ul style="list-style-type: none"> ●ガバナンス・内部統制強化策検討(社外取締役導入・増員ほか)[経営企画部] 	★★★★☆
<ul style="list-style-type: none"> ●グループ企業それぞれの企業倫理指針の徹底[CSR部] ●外国公務員贈賄禁止規則制定・グループ展開[CSR部] ●法令遵守に関する教育啓発活動の継続[総務部] ●拠点会議を活用した周知徹底[マーケティング本部] ●教育・研修等のコンプライアンス周知活動を継続[機械ビジネスセンター] 	★★★★☆
<ul style="list-style-type: none"> ●機密情報漏洩リスクに対応したセキュリティレベルの向上[情報企画部] ●個人情報保護施策の継続・強化[CSR部] ●IT監査の本格的展開[監査部] ●個人株主工場見学会の定期的開催[総務部] ●IRとの連携による対応強化[広報部] ●開示情報・方法の見直し、IRイベントの充実[財務部] 	★★★★☆
<ul style="list-style-type: none"> ●グループ各社のCSR調達ガイドライン策定[調達企画部、CSR部]⇒[グローバル・グループ共通] 	★★★★☆
<ul style="list-style-type: none"> ●重大・類似災害の防止対策の強化[人事本部] ●安全の意識付けの教育の推進[人事本部] ●安全衛生組織体制の強化[人事本部] ●メンタルヘルス対策の強化[人事本部] ●労働安全衛生マネジメントシステムへのDNV(認証団体)による監査継続・リスクアセスメント活動を継続実施[船舶海洋カンパニー] 	★★★★☆
<ul style="list-style-type: none"> ●グローバル人材の育成強化とその他の諸制度・条件整備[人事本部] ●マネジメント教育・階層別教育の強化[人事本部] ●企業家人材・エンジニアリング人材の育成や現場ものづくり力の強化[人事本部] ●人材育成施策のグループ全体への展開[人事本部] ●エンジニアリング人材の育成・生産現場のものづくり支援・ものづくり力強化[プラント・環境カンパニー] 	★★★★☆
<ul style="list-style-type: none"> ●グループ全体(海外含む)での児童労働・強制労働の撤廃の徹底[人事本部、CSR部]⇒[グローバル・グループ共通] 	★★★★☆
<ul style="list-style-type: none"> ●全女性従業員向け推進活動(4Uネットワークほか)実施[人事本部] ●外国籍従業員継続採用、定着のための諸施策実施(ネットワークづくり等)[人事本部] ●障がい者雇用率の確保と活躍支援(特例子会社の設立・運営)[人事本部] 	★★★★☆
<ul style="list-style-type: none"> ●育児世代・介護世代の支援強化[人事本部] ●老朽化著しい寮・社宅の安全確保のための補修と建替[人事本部] 	★★★★☆
<ul style="list-style-type: none"> ●エネルギー見える化システムの活用、推進[地球環境部] ●グローバルレベルでの把握および削減への取り組み[モーターサイクル&エンジンカンパニー] 	★★★★☆
<ul style="list-style-type: none"> ●廃棄物の削減、リユース・リサイクルの推進、PCB処理の推進[地球環境部] ●廃棄物排出量の原単位での削減[ガスタービンビジネスセンター] 	★★★★☆
<ul style="list-style-type: none"> ●化学物質の削減[地球環境部] ●水の省資源化[地球環境部] 	★★★★☆
<ul style="list-style-type: none"> ●ビジョン、基本方針、重点領域、各組織の役割の具体化・明確化[CSR部、総務部] ●効果的な社会貢献の検討と公表[総務部] 	★★★★☆
<ul style="list-style-type: none"> ●社内体制の構築、活動強化、当社への期待の把握と活動への反映[CSR部] ●カワサキワールドの小中学生社会科見学組み込みの継続[広報部] ●工場周辺清掃の継続実施、職場体験の受入れの継続実施、次世代支援育成支援活動(子供向けヘリコプター工作教室)[航空宇宙カンパニー] ●高知県仁淀川町との「かわさき協働の森」事業継続、留学生の支援事業の継続[プラント・環境カンパニー] 	★★★★☆

評価対象：今回は原則単体。

中期目標に対する自己評価の指標 ★：これから取り組みたい ★★：ある程度は取り組んでいる ★★★：かなり取り組んでいる ★★★★：十分だがさらに向上させていきたい